

井手町 議会だより

第42号

平成25年(2013年)
8月発行

発行 井手町議会
編集 議会広報編集委員会
京都府綴喜郡井手町井手南玉水67
☎ 0774-82-6172 (直通)
<http://www.town.ide.kyoto.jp/>



平成の名水百選 玉川上流にある 涼を呼ぶ“名勝 岩壺”



夏本番！歓声あがるプール開き

も く じ

- 6月定例会で決まったこと 2P
- 町政を問う 4P
- 委員会報告 9P
- 井手町歴史散歩・編集後記 10P

6月定例会で 決まったこと

企業立地促進のため助成金を交付

制定した条例

●企業立地促進条例

従来の工場誘致条例を
を全部改正するものです。
町内に新たに製造業や
自然科学研究所、情報関
連産業などの事業場を設
置する企業に助成金を交
付して、企業立地を進め
地域経済の活性化と雇用
を創出することが目的で
す。

助成内容は、土地を除
く投下固定資産額の10%
新規町内常用雇用(正社
員)1人につき30万円、
土地を除く固定資産税の
減免等です。

対象となる事業場の指
定について意見を聞きた

井手町企業立地促進条例 (表1)

	事業の種類	用地面積	投下固定資産	常用雇用者
助成対象企業指定要件	製造業にかか る本店	500㎡以上又は	5千万円以上かつ	1人以上 町内
	製造業にかか る事業場	500㎡以上かつ	1億円以上又は	1人以上 町内
	自然科学研 究所	500㎡以上又は	5千万円以上かつ	1人以上 町内
	情報関連 産業	500㎡以上又は	5千万円以上かつ	1人以上 町内

めに、企業立地促進審査
会(委員6人以内・任期
2年)を設置します。
府の企業立地促進助成
の対象となる事業場には
助成しません。
(賛成全員)

職員給与を引き下げ

改正した条例

●野外活動センター 設置及び管理条例

野外活動センターの休
館日を毎週水曜日(祝日
の場合は次の平日)に改
めます。

●町職員給与と条例

(賛成全員)

国家公務員の給与減額
にともない、井手町の職
員給与のラスパイレシ指
数が100・9となるた
め、職員給与と町長・副
町長・教育長の給与を
0・9%引き下げるもの
です。

7月から来年3月まで
実施。
(賛成多数)

●地区計画区域内の 建築物制限条例

あらたに定めた多賀白
坂地区の地区整備計画区
域内の建築物について制
限するものです。
建ぺい率60%以下
容積率 200%以下
最低敷地面積1000㎡
高さ制限 31m以下
とします。
(賛成全員)

補正予算

●平成25年度一般会計 (第1回)

防災無線のデジタル化
に5600万円、玉川砂
防公園に大型遊具や健康
器具を整備する事業に2
700万円、井手地区共
同墓地の改修に2千万円、
風疹予防接種の公費負担
として57万円、南部公民
館の改修補助に30万円な
どが主な内容で、約1億
800万円を増額するも
のです。
(賛成全員)



改修予定の井手地区共同墓地

大型遊具などの整備が予定されている
玉川砂防公園

税などの滞納延滞金を引き下げ

専決処分報告

● 町税条例改正

住宅ローン減税の延長・拡大や町税を滞納した際の延滞金の割合の引き下げが主な内容です。

延滞金は納期限から1カ月以上の場合14・6%だったものが9・3%になります。

(賛成全員)

● 国民健康保険税条例

75歳に到達する方が国民健康保険から後期高齢者医療制度に移行することにより、国保加入者が1人となった世帯は、平等割が5年間半額に軽減されていましたが、5年を経過した世帯については、その後3年間平等割を4分の3に軽減するものです。

(賛成全員)

● 平成24年度一般会計 補正予算(第6回)

歳入では各種基金からの繰入金の減額、歳出では、備品購入費や工事費の精算にともなう減額と、社会福祉基金への積立金1億円が主な内容で、差し引き約2800万円を追加するものです。

(賛成全員)

● 和解及び損害賠償

平成24年2月に、町の文化財発掘現場で大量の排水を行ったことで、ピニルハウスで栽培されていた作物が発育不良となり、出荷できなくなったもの。

● 和解内容

町が相手方の損害の10割を負担する。

● 損害賠償額

5万5800円

(賛成全員)

● 和解及び損害賠償

平成24年12月に新四郎山グラウンド駐車場で、駐車中の車に、町有地の木が倒れ、車に損害を与えたもの。

● 和解内容

町が相手方の損害の10割を負担する。

● 損害賠償額

192万5742円

(賛成全員)

● 和解及び損害賠償

平成25年4月に本町公用車が相手方の車に衝突し、損害を与えたもの。

● 和解内容

町が相手方の損害の10割を負担する。

● 損害賠償額

29万4000円

(報告)

● 和解及び損害賠償

平成25年4月に本町公用車が相手方の車に接触し、損害を与えたもの。

● 和解内容

町が相手方の損害の10割を負担する。

● 損害賠償額

27万200円

(報告)

同意案件

● 教育委員

奥西康人氏

● 固定資産評価 審査委員

前田光春氏



多賀北赤坂

(賛成全員)



井手北溝

(賛成全員)

あなたも議会の傍聴しませんか

お気軽にお越し下さい
定例会は4回
(3月・6月・9月・12月)

議会は、一般に公開され、どなたでも傍聴できます。
傍聴を希望される方は当日、傍聴席入口で受付簿に
住所・氏名・年齢を記入して下さい。
井手町議会だより・本議会会議録は、
井手町のホームページでもご覧になれます。

<http://www.town.ide.kyoto.jp/>

町政を問う

岡田久雄 議員

- ◆ がん検診受診率向上対策について
- ◆ 風疹ワクチン接種の公費助成について

木村武壽 議員

- ◆ 人口減少について
- ◆ 町有地売り払いについて

中坊 陽 議員

- ◆ 道路・公共交通機関の整備状況について
- ◆ 住民意識の活性化について

谷田みさお 議員

- ◆ 生活保護問題について
- ◆ 風疹予防接種助成について
- ◆ 町長・教育委員会の歴史認識・平和施策について

京都府町村議会議員 研修報告

7月25日、ルビノ堀川において京都府町村議会議員研修会が開催されました。

アベノミクスは成功するか

第一部はテレビでおなじみの経済ジャーナリスト、須田慎一郎氏による「舞台裏から見た政治経済 アベノミクスは成功するか」と題する講演でした。

須田氏は「第一の矢の金融緩和、第二の矢の財政出動は短期的には効果的だった。第三の矢として6月に発表した第一次成長戦略は失敗。9月に発表される第2次成長戦略が注目される」という見方を示しました。

「中国・韓国との関係から靖国神社に参拝するのか、消費税増税を判断するのか、など秋にかけ

ての動きが安倍政権の課題となる」との話は大変説得力がありました。

議会の使命とは

第二部は、元総務大臣で慶応大学教授の片山善博氏が「議会改革とそのミッション」と題して講演されました。

片山氏は「地方議会も教育委員会も『不要』という人が多い。『議会は



何をやっているのかわからない』『敷居が高い』という住民の違和感が原因ではないか」と課題を投げかけられました。

アメリカの地方議会での住民参加の例を挙げて「議会は民主主義にと

視察研修報告

7月26日、正副議長・各常任委員長・議運委員長・議会事務局長の6名で、早くから議会活性化に取り組まれている京丹波町・宇治田原町議会の視察研修を行いました。

両町議会とも、対面方式や一問一答方式の採用、京丹波町ではケーブルテレビによる議会中継の実施、宇治田原町では、昨年度に議会基本条例を制定し、本年度より施行しているとのことでした。



宇治田原町議会 議場の視察



岡田 久雄 議員

がん検診受診率向上対策は

① 受診率向上のために、がんに対する正しい知識や普及啓発に、官民一体で取り組む必要がある。

券の利用状況は。

② 受診率向上への取り組みは。

③ 町内企業への受診率向上のための働きかけは。

④ がんに関する知識を学校の授業に取り入れる考えは。

保健センター
奥山所長

受診奨励の通知を送付

① 各種がん検診の受診率と町の負担金及び無料クーポン券の利用状況は次の表の通りである。

② 向上対策として、未受診者へ受診奨励の通知を送付している。

24年度には肺がん検診の案内を全戸配布する際、あらかじめ受診票を添付し、利便性を向上すると受診環境を整えている。

町文化祭でもがん検診

対策コーナーで啓発している。

③ 町内企業へは、福利厚生担当者にも本町在住の従

各種がん検診の受診率と負担金

	受診率 (%)	町の負担金 (千円)
子宮がん	10.4	1,163
乳がん	6.2	1,009
大腸がん	10.8	420
胃がん	4.1	593
肺がん	8.5	515

無料クーポン券

	利用率 (%)	町の負担金 (千円)
子宮がん	20.1	351
乳がん	23.4	384
大腸がん	19.0	364

業員に対し検診のお知らせを配布いただくよう協力を要請する。

学校教育
小川課長

健康教育を実施

④ 健康教育の一環として、がんに関する内容を小中学校での授業に取り入れている。

風疹ワクチンの公費助成は

① 風疹の感染者が激増している」と報道されている。

② 妊婦が感染すると、胎児にどのような影響があるのか。

③ 男性が感染すると、どのような影響が考えられるか。

④ 妊婦の感染すると、胎児にどのような影響があるのか。

⑤ 京都府の取り組み状況は。

⑥ 接種の費用はどれくらいか。

保健センター
奥山所長

全額公費助成で

いか。本町での対象者数は。公費助成の考えは。

⑤ 感染予防の取り組みと啓発は。近隣市町村での感染者の有無、助成金の取り組み状況は。

① 胎児への影響は、出生時に耳が聞こえにくくなる、心臓に奇形が生じる、目が見えにくくなるなどの先天性風疹症候群と呼ばれる障害を引き起こす可能性がある。

② 男性の感染の影響は、妊娠中の配偶者やパートナーに感染することで、先の障害を出生時に引き起こす可能性がある。

③ 府の取り組みは、緊急母子対策として19歳以上の妊娠を希望する女性及び妊娠している女性の配偶者を対象に助成を実施。一部自己負担が必要であるが、本町では自己負担が伴わないようにする。

④ 接種費用は町内医療機関では7,875円から9千円と聞いており、対象者は120人程度と考

えている。

全額公費で助成する。

⑤ 啓発については「広報いであ」や町ホームページで実施していく。

近隣市町村での感染者数は、1月から5月26日現在で府内感染者が47人、うち山城北保健所管内では23人と聞いている。

助成金の取り組みは、山城北保健所管内では、本町を除き、府の考えに沿って助成されると聞いている。

一部自己負担が必要であるが、本町では自己負担が伴わないようにする。

④ 接種費用は町内医療機関では7,875円から9千円と聞いており、対





木村 武 壽 議員

人口減少を食い止めるには

Q 人口減少を食い止めるための検討委員会が設置され、本年3月に提言書が提出された。

あくまで推計であり断定できないが、本格的な超少子高齢化社会が予想されている。

厚労省の国立社会保障人口問題研究所が発表した将来推計人口においては、本町では2040年には5500人余りとなる。

こういう衝撃的な報告のある中で、今回提出された提言書をもとに、今後どう取り組んでいくのか。

企画財政
協本課長

交流から定住への事業を展開

A 昨年3月、交流人口の増加や、定住促進を図るための方策を検討する目的で、学識経験者、町内のまちづくり団体の推

薦する代表者、住民公募や職員公募による15名の委員で「人口減少を食い止めるための検討委員会」を設置した。

6回にわたる会議や先進地視察を行い、町の強みや良いところ、資源を生かしながら具体的に取り組みめることを検討し、3月1日に提言書を答申した。

提言書には「人口減少を食い止めるためには皆の力が必要」「住んでいる人にとって魅力あるまちづくり」「交流人口を広げる取り組みから定住へ」などの基本方針が示されている。

具体的には
①まちのよさを知ってもらう事業
②住み心地を体験してもらう事業
③移り住んでもらう事業

町有地売り払いの状況は

Q これまで町は事業推進のため、多くの土地を取得して住民要望に応えてきた。総合計画に基づき、これからも同様に取り組みもの期待してい

る。
しかし以前購入した土地の中で、計画や設計の変更で、また住民の協力が得られず事業がすすまず残っている土地等も多



人口減少を伝える新聞記事

を短期・中期・長期計画で示し、地域住民や町内外のサポーター・行政が連携できるような土台の形成についても提言されている。

今年度はホームページのリニューアル、体験農園、空き家活用調査、大学と企業の連携に取り組む。

中・長期的な事業のために役場組織の見直しも考える。

くある。

これからの事業推進のため、土地の有効利用、処分、他の事業への転換もよいと思う。

現在売り払いでいる土地の件数、隣地掘下げなどの処分条件、住民への周知方法、金額の決め方などを問う。

企画財政
協本課長

一般競争入札も活用

A 不整形地などで隣地と一体利用で利用効果が高まる土地は、隣地所有者に購入希望を確認してきている。

平成23年度は4件、24年度は1件売り払いを実施した。

は、公告、ホームページへの掲載、報道機関への情報提供、庁舎やいづみ人権交流センター、図書館に案内ビラを置くなどしている。
金額は不動産鑑定士による鑑定評価額に基づき算定している。

隣地所有者に購入希望がない場合や、単独で利用できる土地は、一般競争入札の方法で売り払うこととし、25年度に一件売り払いを実施した。

現在売り払い予定地は2件である。

一般競争入札の周知について



売払予定地



中坊 陽 議員

道路・公共交通機関の整備は

Q 生活環境や利便性向上には道路・公共交通機関の整備が重要。

国や府・JR等の関係機関の協力を得て、「快

建設
中村課長

着実に実施

A 道路・公共交通の25年度末での計画完了予定については、2つの方針のもとに実施している。

道路交通網の整備

① 国道

国道24号の路肩補強は

② 府道
府道上狛城陽線、和束井手線とも継続的、計画的に切れ目なく実施している。

玉川から井手小学校ま

での整備は25年度完了予定である。

③ 広域幹線道路

宇治木津線道路新設の

取組みは、長年の要望が実を結び、本年度国土交通省において宇治木津川周辺地域道路網調査として宇治木津川線の調査が実施される。

④ 地域幹線道路

梅溪橋改良工事、町道22号線道路改良工事は25年度末完了予定である。

⑤ 生活道路

橋梁維持補修は必要に応じて補修工事を実施している。

道路台帳の補正や、歴史と自然が薫る道づくり事業は、計画通り完了している。

公共交通機関の充実

① 鉄道輸送力の強化

JR奈良線の全線複線化を推進するため、スタンプラリーなどの啓発事業を引き続き実施する。

JR奈良線高速化複線

化事業は、6月14日発表のとおり、第2期工事についておおむね合意を得た。

25年度にJRが実施する環境影響評価、鉄道設計に補助を行う。

② 駅前広場の整備

玉水駅及び駅前整備、山城多賀駅バリアフリー整備を行う予定で関係機関と計画を立案している。

自然環境や歴史的名所の活用策は

Q 住民意識の活性化策として、本町の恵まれた自然環境や歴史ある名所の数々を、テレビドラ

環境
長崎課長

「ロケスポット京都」を活用

A 府では委託事業として、NPO法人映像産業振興機構京都事務所による運営で、「ロケスポット京都」というホームページを開設している。

撮影可能なロケスポットとして登録しておくテレビドラマやCMの制作会社等が参考にして、ロケ地として採択される。本町には、まちづくりセンター椿坂や環境省の「ため池100選」として登録されている大正池、府の景観資産である万灯呂山展望台など自然豊かな多くの観光資源がある。これらの観光資源を「ロケスポット京都」のサイトに登録したい。今後「ロケスポット京都」の活用とともに、府や府観光連盟を通じた観光PR、町ホームページでの情報発信、京都総合観光案内所「京ナビ」でのパンフレットの配布など、町の魅力の発信に努め、井手町をPRしていきたい。



工事中の梅溪橋



京都府景観資産「大正池」



谷田 みさお 議員

生活保護の現状は

本町の生活保護受給者は何世帯で何人か。

何件か。

昨年度中相談にこられた申請に至らなかったのは

申請したのに受給できなかったケースは。

申請に至らなかったのは

福祉課長
嶋田 住民

261世帯が受給

25年4月1日現在で

261世帯・411人。

相談件数27件、申請に

至らなかったのは6件。
受給できなかった件数は6件。

風疹予防接種の助成は

風疹予防接種助成の重要な理由は、妊娠中の

女性が感染すると、赤ちゃんの目や耳、心臓に障

害が出る先天性風疹症候群で生まれることがあり、

確率は妊娠初期に感染するほど高いことになって

いる。

京都府では6月補正で、市町村が助成制度を作れば補助制度を作ることだが本町の対応は。

昨年まで5年間、風疹麻疹の混合ワクチンの予

保健センター
奥山所長

全額公費負担

自己負担が伴わないように、府負担の残り分

は全額町負担。

5年間の中学1年生・高校3年生に対する接種率については次の表の通り。

風疹予防接種の接種率

年度	中学1年生		高校3年生	
	対象者数(人)	接種率(%)	対象者数(人)	接種率(%)
20	68	86.8	77	83.1
21	92	96.7	81	81.5
22	75	90.7	95	86.3
23	83	90.4	70	75.7
24	69	98.6	84	83.3



日の丸・君が代の扱いは

①今年の本町の小・中学校入学式で日の丸が

壇上に飾られ、国歌斉唱が加えられた。これまで

の取り扱いに変更があったのか、その理由は。

②今後の他の学校行事や、町長部局所管の町行事な

どで日の丸・君が代の扱いに変更があるのか。

③慰安婦制度や村山談話についての認識・大阪市

長慰安婦問題発言について、歴史を逆行させるような政治家の発言に対し

町長の認識は。

④本年平和市長会議に加盟されたが、総会に出席される考えは。

⑤教育委員会において平和市長会議の精神を生かす取り組みを行う考えは。

町長

法律を遵守する

①平成11年8月、国旗及び国歌に関する法律

が成立した。法律を遵守

するのは当然であり、今後住民への周知に努める。

③慰安婦制度や村山談話については、町政にかかわることではないので、

コメントは差し控える。

大阪市長発言について

も、大阪市民や議会が判断すべきと考える。

④8月に開催される第8回平和市長会議総会で、

名称を平和市長会議に変更すると連絡があり加盟することにした。

今後の取り組みについては、今年の総会の結果を踏まえて判断する。

松田教育長

指導要領に基づき実施

①学習指導要領に基づき、各学校が検討する

なか、教育委員会とも協議し今年の入学式から実施した。

②他の行事における取り扱いについては、各学校と協議していく。

⑤名称も変わるので、今後の動きを見て判断する。

産業厚生

常任委員会報告

委員長 木田 鈴 美

井手町企業立地促進
条例制定の件につき、
委員会付託を受け、6
月24日に産業厚生常任
委員会を開催し審議し
ました。

にわたって熱心に質疑
が行われました。

討論では「この条例
制定により、企業の進
出が期待でき、雇用確
保につながるものと期
待する。」との賛成討
論があり、採決の結果、
全会一致で原案のお
り可決するものと決し
ました。

この条例は、井手町
において本店又は工場、
研究所その他の事業場
を設置する企業に対し
て、助成金を交付する
ことにより、企業
の立地を促進し、
地域経済の活性化
及び雇用の創出を
図ることを目的と
するための条例で
す。

この条例が定める
○助成対象企業指
定要件

○事業場設置助成

○雇用創出助成

○操業支援助成

等に関して、詳細



旧工場誘致条例で助成した工場

交通対策

特別委員会報告

委員長 中 坊 陽

6月24日交通対策特
別委員会を開催しまし
た。

内容はJR奈良線の
高速化・複線化第二期
事業についての報告で
した。

この事業の総事業費
は369億円で、内訳
は関係市町4市2町
(京都市・宇治市・城
陽市・木津川市・井手
町・宇治田原町) 13
8億円、京都府1
38億円、JR西
日本93億円で、平
成34年度開業を目
標に進められてい
きます。

本町の関連事業
としては、玉水駅
の橋上化をはじめ、
バリアフリー化の
ためのエレベータ
ー設置、東西を結



ぶ自由通路の整備や駅
周辺整備です。

山城多賀駅では、バ
リアフリー化のための
エレベーターの整備を
図っていく予定です。

委員会では、玉水駅
東口の駐輪場設置、駅
橋上化工事の際の仮設
工事やエレベーター設
置後の安全管理体制等
について質疑が行われ
ました。

井手町立学校給食センター

運営委員会報告

会長 西 島 寛 道

6月13日に学校給食
センター運営委員会を
開催し、議会からは岡
田副議長(監査)と西
島寛道が出席しました。

この日は韓国料理で
を受けている。」そう
です。

委員会では、平成24
年度事業報告・決算報
告・会計監査報告並び
に平成25年度事業計
画・予算について審議
を行いました。

食物アレルギーに対
しては、保護者・学
校・医師の連携を密に
し、安全で安心な給食
を子どもたちに提供し、
食事を通じて心身の健
全な発達と育成を願っ
て取り組まれています。

その後、子ども達の
学校給食の様子な
どのDVDを見て
実際に給食の試食
をしました。

原田栄養教諭の
お話では「最近の
学校給食では、世
界の料理を取り入
れて、子どもたち
に校内放送などを
通じ、どこの国の
料理なのかを紹介
し、大変高い評価



井手町 歴史散歩

— 井手町にある有名な滝 —

ろう べん 良 弁 の 滝

井手町自然休養村管理センターから多賀地区に通じる、かつての「旧大和街道」に沿った才田川(さいだがわ)の谷に、落差約6メートルの「良弁の滝」があります。

この滝の名前がいつごろに付けられたかは分かりませんが、東大寺建立に大変功労のあった「良弁僧正(ろうべんそうじょう)」と何らかの関係があったものと考えられます。

「東大寺要録」には良弁僧正が嬰兒(えいじ)のとき坂東(関東地方)で驚にさらわれ山城国多賀のあたりで落とされ、多賀の里人の手によって育てられたことが記されています。

この滝は旧多賀村と旧井手町との村界にあります。成長した良弁が平城の都に旅立つ折に、この滝のあたりでお世話になった村人たちとの別れを惜しみ、新たな誓いを立てたのではないのでしょうか。



良弁僧正の伝承のなかでも「東大寺の良弁杉」は有名ですが、多賀村の村界にある小さな滝に良弁僧正の徳を慕っていつの頃から「良弁滝」と名付けられたのでしょうか。

近年になって、滝の近くに小さい「良弁の滝」と刻まれた石碑が建てられました。

なお、嬰兒を見失った両親は全国を歩いてそれを探し求め、大きく成長して「別当」という高僧になった良弁によりやうく再会を果たしたことが、先述の「東大寺要録」に記されています。

(井手町史 第5集より)

現在、「良弁の滝」の周りは竹が生い茂っており、残念ながら滝を正面からは見ることが出来ない状況です。



編集後記

暑い夏も終盤に近づいてまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。涼しそうな軒先のゴーヤの緑のカーテンも下葉が少し枯れてきて、もう少しでお役コメンとなります。チョッピリ淋しい気がします。

小中学生のみなさん、長かった夏休みもあと10日あまり、宿題や絵日記、工作は完成していますか？そろそろお友達が恋しくなったころでしょうか。幼き頃を思い出します。

まだまだ暑い日は続きます。夏のお疲れが出ませんようにご自愛ください。

これからも住民感覚を生かしてより良い広報誌づくりに取り組んでまいります。皆様のご意見お聞かせ下さい。

H.O

議会広報編集委員

委員長 木村 武壽
副委員長 岩田 剛
委員 岡田 久雄
委員 森田 泰雄
委員 丸山 久志
委員 谷田 みさお